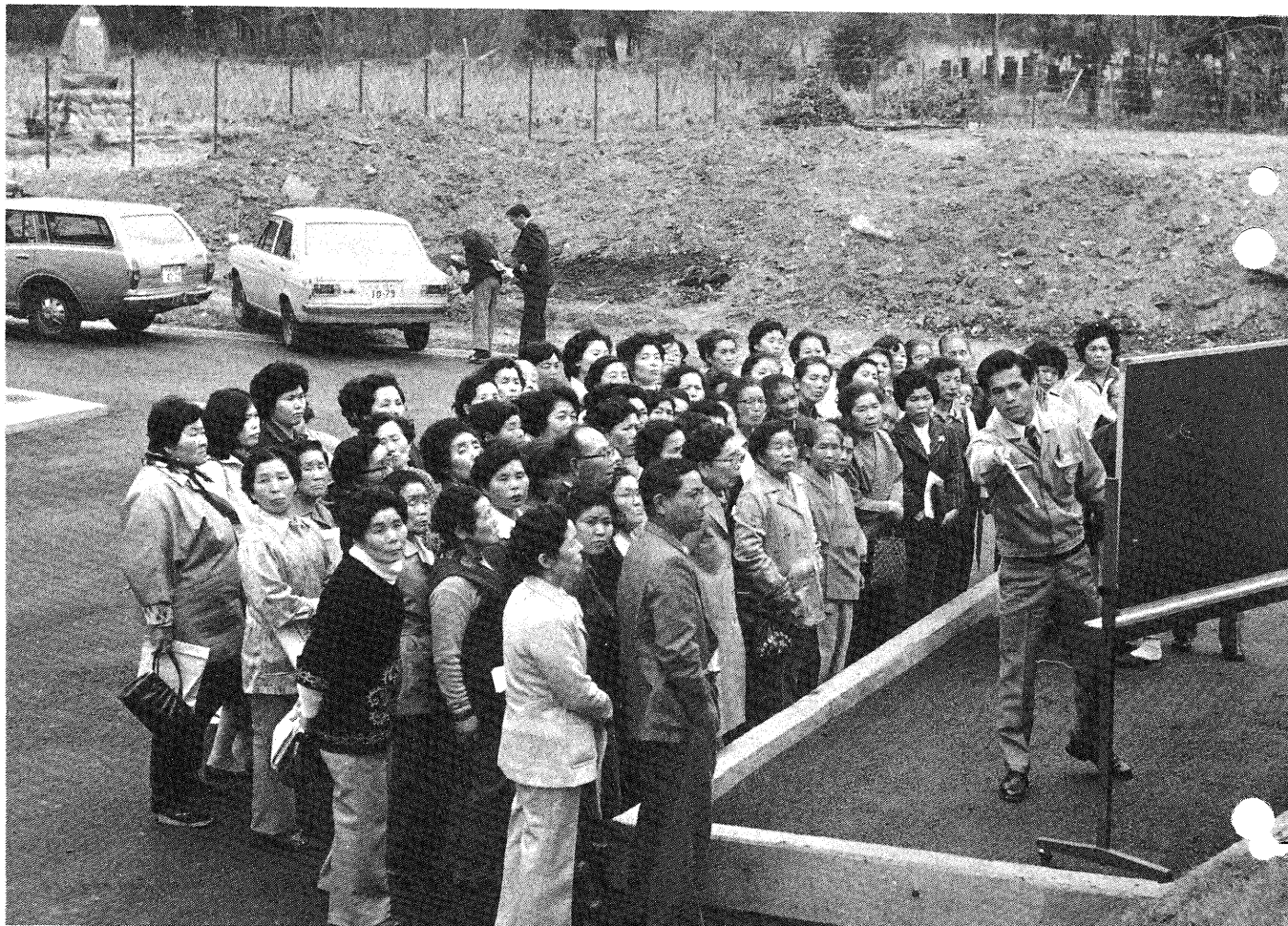




村章
昭和51年4月
1日に制定

編集・発行
大里郡江南村役場
TEL36-1521 ㊦360-01



— 村内施設めぐりを実施 —

4月10日から婦人週間が行われましたが、村では婦人を対象にした村内の「施設めぐり」を実施いたしました。

村の施設をはじめ、老人ホーム、工場等を見学し、参加者皆さんが江南村にもこんな立派な施設があるのかと感心して見入っておりました。写真は、浄水場で説明を聞く参加者。

(内容は5ページに)

おもな内容	
昭和五十三年度予算 のあらまし……(2)~(4)	教職員異動……(4)
村内施設めぐりを実施 仲人さんに感謝状……(5)	同和問題シリーズ……(6)
話題の広場……(7)	農協合併……(7)
お知らせコーナー……(8)	

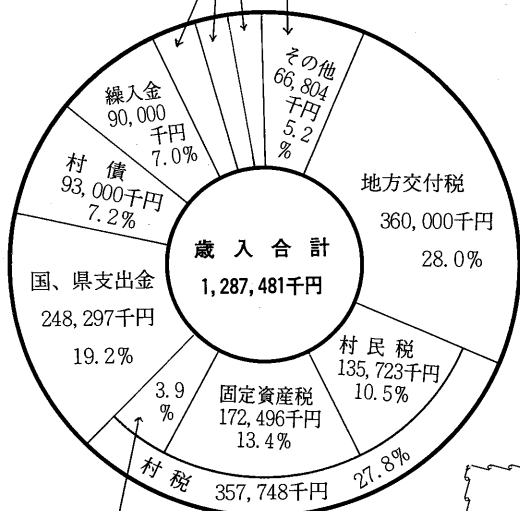
予算のあらまし

12億8,748万1千円

1億6,904万9千円

1億2,640万円

- 分担金及び負担金 21,732千円 1.7%
- 自動車取得税交付金 21,900千円 1.7%
- 地方譲与税 28,000千円 2.2%
- 使用料及び手数料 15,598千円 1.2%
- 財産収入 35,114千円 2.7%
- 繰越金 5,000千円 0.4%
- 交通安全対策特別交付金 1,200千円 0.1%
- その他 9,892千円 0.8%




- 村たばこ消費税 21,911千円 1.7%
- 電気税 17,439千円 1.4%
- 軽自動車税 5,176千円 0.4%
- 特別土地保有税 5,002千円 0.4%
- 木材引取税 1千円

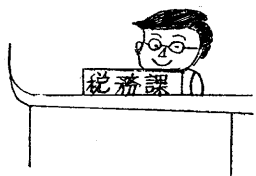
福祉の向上と生活基盤整備に重点

- 昭和五十三年度の予算などを審議する第一回定例会
- 議会は、三月十一日から十七日まで開かれ、慎重な審
- 議のうえ、可決成立されましたので、その予算のあら
- ましをお知らせいたします。一般会計では、前年対比
- 六・一%の増、国保特別会計では、三・七%減、水道
- 事業会計では、四〇・二%増となり、三会計あわせて
- 十五億八千三百二十六万三千円を計上いたしました。

一般会計歳入



地方交付税
これは、国から村へ交付されるお金であります。
村の規模、たとえば人口や学校数、各施設等の状況により計算されて交付されます。
本年度は、前年に対して、十二・五%増の三億六千万円を見込みました。




村税

村民の皆様から直接納めていただく、村民税・固定資産税・軽自動車税等と、電気税・タバコ消費税などのように間接的に納めていただく税があります。
予算額は、収入可能額を計上し、三億五千七百七十四万八千円を計上いたしました。

たばこは村内で買いましょう!

村債

本年度は、道路整備事業に充てる費用として三千万円、村民体育館建設事業に充てる費用として六千三百万円の借入を予定しております。



使用料及び手数料

これは、幼稚園使用料及び、母子健康センター使用料、戸籍謄抄本、住民票交付手数料、各種証明手数料等であります。



国、県支出金

これは、国や県の基準にもとづいて、各種事業を実施する場合にその費用の一部が交付されるものです。本年度は、国庫支出金として、六千三百七十一万二千元、県支出金として、一億八千四百五十八万五千円を計上いたしました。

昭和53年度 一般会計 国保特別会計 水道事業会計

一般会計歳出

教育費
この費用は、幼稚園、小学校、中学校などや、社会教育を進めていくうえで欠くことのできない人件費、教具等の経費を計上し、なお一層の教育をはかる経費としました。又、昨年に続き、村民体育館の建設費を計上いたしました。

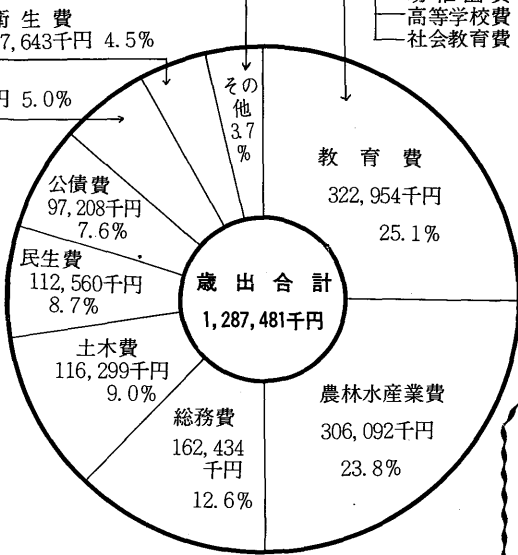
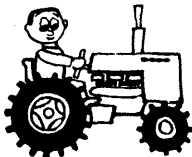


教育費	41,186千円	3.2%
費工費	4,087千円	0.3%
費備費	2,000千円	0.2%
議商予諸支	1千円	

保健体育費	207,709千円	16.1%
教育総務費	29,737千円	2.3%
小中学校費	25,235千円	2.0%
幼稚園費	17,839千円	1.4%
高等学校費	35,783千円	2.8%
社会教育費	335千円	
	6,316千円	0.5%

農林水産業費
農林水産業費につきましては、農業基盤の整備拡充をはかるため本年度は、第一次農業構造改善事業費として、江南南部土地改良事業費補助及び、まゆ出荷所の建設

また、同和对策基盤整備事業費補助、農道整備事業費として十路線近代農村建設事業として一路線の事業費及び各種補助金、畜産業費、農業委員会費等を計上し、この額は、予算額全体の約四分の一を占めます。



総務費
この費用は、役場の機構全般にわたる、ふだん必要な経費をはじめ、税務、戸籍、選挙等に必要経費及び人件費、また区の運営費補助金等を計上してあります。



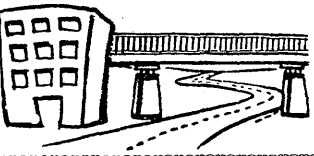
民生費
この費用は、老人医療費をはじめ老令年金、敬老事業、一部事務組合で行う老人福祉センター負担金などのほか、児童手当、乳児医療費および保育所運営費などが計上されております。



消防費
消防費については、熊谷地区消防組合負担金共通経費と、非常備消防団諸経費をはじめ、消火栓の設置費、消火栓用水道管布設工事費及び水防費を計上いたしております。



土木費
土木費につきましては、生活環境の整備という時点から、極力意を注いでおるところであります。本年度も道路の新設、改良舗装に要する工事費、用地費、補償料を合わせて、六千九百五十一万円を見込み、道路維持費、都市計画費等で合計一億一千六百二十九万九千円を計上いたしました。



衛生費
この費用は、村民の皆様が、健康で明るい生活ができますように公衆衛生の向上、生活環境などの対策として、住民検診および各種予防接種事業費、献血対策費、母子健康センター管理運営費、また不燃物の収集及び、ごみ焼却施設に伴う一部事務組合負担金などが計上されております。



国保特別会計

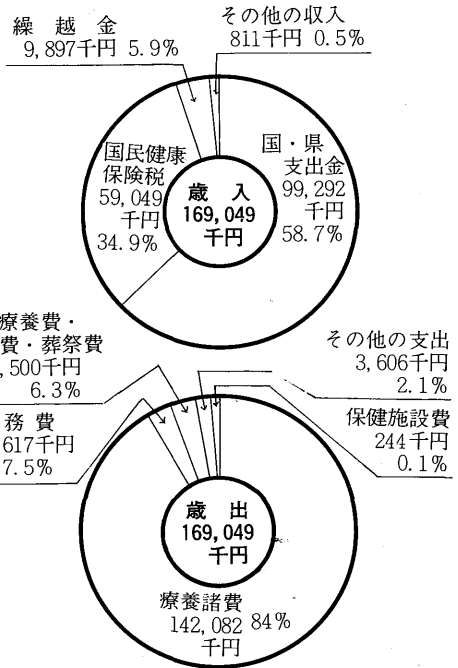
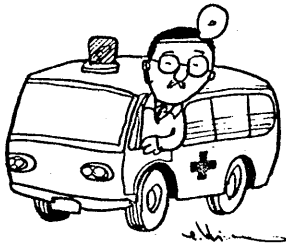
国民健康保険特別会計について、国保総予算額の九〇・三%を占める保険給付費は、昨年度の医療費の改定や自然上昇そのほか老人医療費の無料化などによって、医療費の伸びが見込まれますが、保健施設費において保健婦人件費が本年度より一般会計へ移行された為に、収支予算額において前年度より〇・四%の減となりました。

財源につきましては、給付費の増加にともなう国庫負担金の増額が見込まれ、前年より五%増を計上し、保険税については前年より三・七%の減となりました。

助産費が六万円に。

又、本年四月一日から子供さんが生れたとき支給する助産費は、六万円に増額されました。

本年度国保特別会計予算は、円グラフのとおりです。



水道事業会計

水道事業特別会計は、昨年まで建設してきました第一回拡張工事も終り、本年度からはこの施設を利用して住民福祉の向上と、生活基盤のもとになっている水を適正料金で、合理的におとどけたいとします。

五十二年度の予算概要は次のとおりです。

◎本年度業務予定数量

給水戸数 一、八八〇戸

年間給水量 一、〇七八千m³

一日平均給水量 二、九三七m³

水道事業特別会計は、昨年まで建設してきま

も終り、本年度からはこの施設を利用して住民福祉の向上と、生活基盤のもとになっている水を適正料金で、合理的におとどけたいとします。

五十二年度の予算概要は次のとおりです。

◎本年度業務予定数量

給水戸数 一、八八〇戸

年間給水量 一、〇七八千m³

一日平均給水量 二、九三七m³

◎収益的収入

水道事業収益八四、四九七千円

営業収益 八三、九九五千円

営業外収益 五〇一千円

特別利益 一千円

◎収益的支出

水道事業費二六、四〇〇千円

営業費用 八四、八六八千円

営業外費用 四一、四三二千円

特別損失 一千円

予備費 一〇〇千円

◎資本的収入

資本的収入 一一、二五〇千円

資本的支出 二二、九五〇千円

◎資本的支出

本年度は、一立方mの水を各家庭まで送るのに二二円の費用が必要です。一滴の水も貴重な資源です。大切に使用しましょう。

人事異動

四月一日付で、新年度になり、次のとおり異動が行われました。

◎教職員異動

- 校長 浜島清次 → 熊谷富士見 中教頭から
- 教諭 馬場洋二 → 大里吉見小 学校より
- 校長 岡部進 → 花園小学校 長へ
- 教諭 藤浪昭夫 → 南小学校へ
- 教頭 小柴文代 → 大里吉見小 教頭より
- 教諭 藤浪昭夫 → 北小より
- 教頭 柿沼淑夫 → 寄居桜沢小 校長へ
- 教諭 中島武平 → 大里市田小 学校へ
- 江南中学校関係
 - 教頭 新島三郎 → 深谷豊里中 教頭から
 - 教諭 吉岡克一 → 新採用
 - 島田秀樹
 - 志賀幸子
 - 田口和子
- 教頭 轟 忠良 → 熊谷玉井中 教頭へ
- 教諭 佐久間義雄 → 大里中へ

農業委員選任

選挙による委員さんの氏名は、「三月号」で掲載いたしました。ほかに、他からの推選で村長が選任した委員は次のとおりです。

村議会推せんによる学識経験者 茂木秋広 長倉敬三(敬称略)

熊谷地区農業共済組合推せん 水野 八郎

御正農業協同組合推せん 高田 太鹿

小原農業協同組合推せん 井上大炊介

野鳥との交流を
五月十日から
『愛鳥週間』

教諭 野口静男 吹上中へ

教育委員会関係

派遣社会教育主事 石坂清一

スポーツ担当主事

◎役員交替

各字でお骨折りいただいておりますが、各字区長さんにも、次のとおり交替がありました。

(カッコ内前任者)

小江川 井上勝義(野沢 宗一)

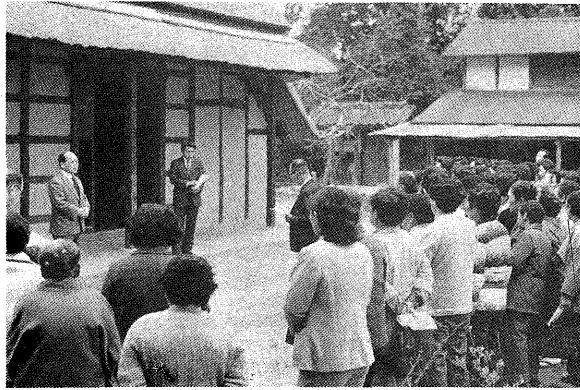
板井 小川寿貞(小田川喜栄)

村内施設めぐりを 実施

「みなさんの声を市政に」という村長の発案から毎年対話集会を実施してきましたが、今年度は、これに代りまして、村内の家庭の主婦を中心とし四月十日から四月二十日にかけて村内の施設めぐりを実施いたしました。

これは、婦人がはじめて参政権を行使した四月十日から婦人の地位向上のための特別活動として行われた婦人週間と合せて実施し、外に出る事の少ない家庭の主婦に、江南村を良く知ってもらうことを目的として行われたもので、村内婦人四二一人が参加いたしました。

見学の場所は次のとおりです。一、重要文化財 平山家住宅



- 二、ライスセンター
- 三、ディーゼル機器(株)江南工場
- 四、幼稚園、保育所
- 五、武蔵野ユートピア
- 六、江南村役場
- 七、ゼリア新薬(株)江南工場
- 八、浄水場

各場所とも、係員の説明に真剣に耳を傾けて聞き入っており江南村にもこんな立派な施設があるのかと、皆さん感心しておりました。

今後は、村民体育館、老人福祉センター、ゴミ焼却場と大きな建物が建設されてまいります。今回参加できなかった人は次回に、又は個人でも見学していただき私達の住む江南村を良く知っていただければ幸いです。

交通事故防止のため協力を

最近、交通事故も市街地から農村部へ移ってまいりました。人身事故はもちろんです、それ以外に小さい接触事故は、毎日のように私達の身近で発生しております。

これらの事故の原因の一つに道路上にのびた木の枝、植木、桑等で一時停止をしても左右の確認ができなかつたり、カーブミラーがその役目を果たさず見通しが悪くなっている所があることです。

「明日は我身」のことわざもありますが、私達の身近からできる

だけ事故発生要因となる障害物を取り除いて、事故のない明るい環境作りをいたしましょう。

皆さんもう一度、自分の家のまわりを見て、道路上に出ている枝などを切り取って下さるようお願いいたします。



行楽期の事件 事故を防ごう

さわやかな春五月を迎え、スポーツにレジャーにと、屋外での活動が盛んになります。

一方この時期になりますと、行楽先での暴力や盗難事故、又、交通事故もふえてきます。

このような事件、事故を防ぐために、みんなで注意いたしましょう。

仲人さんに 感謝状

農業後継者縁組に

昨年一年間に、農家へお嫁さんをお世話くださった仲人さんに、さる四月十一日功労をたたえるため感謝状と褒賞金が贈られました。感謝状など贈られたかたは下記のとおりです。(産業課)

農業後継者媒妁人及び婚姻届出者氏名

(敬称略)

媒 妁 人 名	婚姻届出者氏名	媒 妁 人 名	婚姻届出者氏名
成福 沢田 清	新井 政 男 村 ヤス 子	熊谷 石 原 島 啓 介	藤野 栄 司 田 三 枝
大宮市吉野町一 門 井 年 一	長谷 川 均 岸 美 恵 子	熊谷 市 榎 野 圭 一	飯島 俊 夫 鈴 木 る み
板井 佑 光	寺山 健 次 篠 分 京 子	上新田 四 郎 柴 田 郎	岡部 佳 博 志 田 佳 博
押切 宗 昌	松本 博 子 坂 田 百 合	熊谷 市 熊 内 島 義 雄	新井 茂 江 沼 美 佐
熊谷 市 武 座 佐 川 平 平	関崎 健 次 嶋 崎 佳 子	大宮市大成町 上 喜 一郎	小 板 文 夫 木 村 陽 夫
熊谷 市 下 夫 新 井 正 夫	関田 吉 江 田 中 茂	三本 田 光 久 坂 田 久	関田 和 子 奥 田 省 三
上新田 四 郎 柴 田 郎	福田 美 嶺 村 美 嶺 子	三本 野 司 郎 中 野 司 郎	関田 秀 史 並 木 秀 史
熊谷 市 熊 谷 内 島 義 雄	大久保 徳 宣 坂 田 春 江	熊谷 市 村 岡 谷 村 喜 夫	木 村 進 子 谷 村 湊 子
三本 野 正 正 奥 本 正 正	関浦 茂 洋 夫 口 茂 洋 夫	寄山 町 寄 居 田 町 晴	藤 明 静 川 明 静
熊谷 市 見 晴 根 岸 英 三 郎	柴田 忠 典 中 田 忠 典 子	押切 田 豊 一 坂 田 豊 一	均 美 子 田 惠 美 子
小野 江 川 助 野 口 大 助	坂田 剛 綾 市 川 剛 綾 子	押切 田 宗 昌 持 田 宗 昌	美 子 正 規 金 友 友 子
樋平 春 道 三 郎	新井 嘉 徳 山 下 嘉 徳 子	熊谷 市 万 条 海 沢 万 条 郎	橋 友 子 高 橋 友 子

同和問題シリーズ

(三) 水平社運動とは

K 水平社運動というのは、どうして起こったのですか。

T 水平社運動にふれる前に、米騒動のことをとりあげなければならぬと思います。

米騒動というのは、大正七年七月、米のねだんが高くなることによつて、生活が苦しくなつた人たちの怒りが、騒動になつたものです。京都、岡山、広島、津、名古屋、また、滋賀、奈良、和歌山、富山、香川、山口、福岡等の各地で、同和地区の人たちが勤労者や市民とともにこの騒動に参加したといわれています。

このことで、同和問題は見直され、社会問題として考えられるようになりました。

前にもお話しした「帝国公道会」が同情融和大会を開催、大正九年度の国の予算に地方改善費が五万円計上されたことなどがそれです。

K 政府は、具体的にどんな対策を行なったのですか。

T 第一に、全国部落調査を行な

い、大正九年八月に新設された社会局の諮問機関である社会事業調査会の答申「部落改善要綱」をとり上げて、行政方針を確立

翌十年度には予算を増額して施策の拡充をはかりました。

このことに呼応して、全国に新しい融和団体が相ついで結成されていきました。

ここで、特筆しなければならぬのは、差別をなくす方法が、人間関係の改善に重点を置く融和主義の方向へと変わったことです。

K 水平社運動も、それらの動きにはいつてくるわけですか。

T いいえ、水平社運動は、前にお話した融和運動に対抗して行われたものです。

大正十一年三月三日、京都の岡崎公会堂で創立大会が開かれました。全国水平社は、部落を改善するだけでなく、完全な解放を目ざし、協動的な融和主義でなく、差別をなくすためにたたかう自主的な団体として発足したのです。

K そうすると、これまでの融和団体とは、だいぶちがっているわけですね。

T そうです。そのことをはっきりおさえておくことが大切ですね。手みじかにいうなら、改善から解放へということができるとくに、この運動が果たした役割として、同和地区の人たちの基本的な権利に関する自覚を高めたこと、部落差別の不合理性についての社会的なとらえ方が生まれたことを忘れてはならないでしょう。

K この動きに対して、政府は、どのように対処したのですか。

T まず、全国水平社が結成された翌年、地方改善費予算として、四九一、〇〇〇円に増額しました。前年度の二倍にあたります。

第二番目に、十二年八月、内務大臣訓令を出して、差別的偏見を打ち破ることの必要を力説するとともに、積極的に融和運動の奨励、助成に務めました。

K それらは、水平社運動に対処する動きとして行われたのですかね。

T そうですね。さらに政府は、昭和五、六年に起こった農業恐慌に対処するため、時局国策策を実施しました。そのさい、同

和対策の応急施策として、貧しい地区農民を救済する事業を行いました。

それがきっかけとなって、それまでの観念的な融和運動から、自覚更生の経済施策に重点をおく運動へと発展しました。

さらに昭和十年に「融和事業の総合的進展に関する要綱」が決定され、それにもとづいて、「融和事業完成十か年計画」が立案されました。

その内容は、経済更生施策と教育文化施策を大きな二本の柱としたものです。これは、従来、無計画だった同和対策に総合、統一性と計画性とを与えたという意味で、画期的な意義を持つと評価できます。

K では、同和対策が一層前進したというわけですね。

T いいえ、残念ながら、政府は、計画を全面的に採用する予算措置を行いませんでした。

ですから、せっかくの計画も中途半端におわり、やがて大平洋戦争にはいり、同和対策も、戦争政策の犠牲にされていきます。いろいろな民主運動とともに水平社運動も、戦争目的のため、弾圧され、本来の目的と役割とを失われていったのです。

(埼玉県教育局同和対策課)

選挙と小話

オオカミとヒツジ

多勢の犬に攻めたてられて倒れたオオカミが弱りはて、息もたえだえになっていました。

通りかかったヒツジに助けをもとめ、「水をのまして下さい。苦しい、苦しい」とたのみました。するとヒツジはジツと考えてい

ましたが、「オオカミさん、私が水をのましてあげたらついでに私をもたべてしまうでしょう」と、いそいでにげてゆきました。



困ったときに、どんなにあわれみを乞おうとも、オオカミの本性をみぬくヒツジは賢明だと云えましよう。

言うことよりも、その平生をよく判断したいものです。



→ 江南村に日本赤十字奉仕団が誕生、三月二十八日結団式が行われました。

日赤奉仕団は、赤十字精神に基づいて、災害時の救援、募金活動、献血等のボランティア活動を行います。(写真は、団旗を受取る団長の若林さん)



← 春の交通安全期間中、村内の県道各所でステッカー、ふうせんなどを配付し、安全運転を呼びかけました。

↓ 4月3日、樋春七社でめずらしい「だんご投げ」の行事が行われました。樋春南、北に別れて「だんご」の拾い合いです。



↓ 3月12日江南北小学校で、約500名が参加し、北小開校100年祭が盛大に行われました。



江南村農業 協同組合発足

すでに皆さん御承知のとおり、小原、御正の両農協が合併し、五月一日より江南村農業協同組合として発足いたしました。

江南村の農業は、都市化の進展にともない兼業農家の増大、農業労働力の流失、農業後継者の確保難等により、生産環境は悪化しております。しかしまだ農業中心に意欲的に取り組んでいこうとする農家も沢山あり、又、農協は小規模のものより大規模のものが有利とされておるところです。

この合併により、江南村農業の益々発展が期待されております。

農村婦人の貧血検査結果

村では毎年一回、農村婦人を対象に貧血及び成人病の検査を行っております。これは村の事業の一環として、農村における重要な役割をもっております。

今年も三月十三日、十四日の二日間にわたって実施いたしましたところ一〇八名が検査を受けました。

☆ 検査項目

尿……………蛋白、尿糖等
血液……………コレステロール、尿酸
貧血……………血色素量、全血比重

☆ 検査の結果

- 蛋白の出た方 五名
- 尿糖の出た方 四名
- ウロビリノーゲン(肝臓) 五名
- 軽度貧血 四名
- 高度貧血 二名
- コレステロールが高い 九名
- コレステロールが低い 五名
- 尿素、窒素(腎臓) 二名
- こんなときは、こんな食事をとる。
- 貧血…蛋白質と鉄分を多くとる。
- 肝臓病…蛋白質、ビタミン源を多くとる。
- 糖尿病…植物性脂肪、低カロリーのものも多く。
- 高コレステロール…蛋白質、ビタミン、植物性脂肪を多くとる。

